

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【公表番号】特表2010-531148(P2010-531148A)

【公表日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-038

【出願番号】特願2010-513938(P2010-513938)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	1 0 1
C 1 2 N	5/00	1 0 2
C 1 2 P	21/02	C

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月9日(2011.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号1の核酸配列のコード領域および配列番号1の核酸配列のコード領域に対して少なくとも98 %の配列同一性を有する核酸配列から成る群から選択された、ヒト卵胞刺激ホルモン(FSH)の鎖をコードする核酸配列を有する核酸分子。

【請求項2】

宿主細胞において活性なプロモータに制御される請求項1に記載の第1の核酸配列を有する組換え核酸分子。

【請求項3】

配列番号2の核酸配列のコード領域および配列番号2の核酸配列のコード領域に対して少なくとも85 %の配列同一性を有する核酸配列から成る群から選択された、ヒト卵胞刺激ホルモン(FSH)の鎖をコードする第2の核酸配列をさらに有する請求項2に記載の組換え核酸分子。

【請求項4】

配列番号3で示された核酸配列のコード領域、および配列番号3で示された核酸配列のコード領域と少なくとも70 %の配列同一性を有する核酸配列から成る群から選択された第2の核酸配列をさらに含む請求項2に記載の組換え核酸分子。

【請求項5】

第2の核酸配列が別のプロモータに制御される請求項3または4に記載の組換え核酸分子

。

【請求項 6】

第1の核酸配列および第2の核酸配列のうちの少なくとも一方がウイルスプロモータに制御される請求項2～5のいずれか一項に記載の組換え核酸分子。

【請求項 7】

第1の核酸配列がSV40プロモータに制御されるか、または第2の核酸配列がCMVプロモータに制御される請求項6に記載の組換え核酸分子。

【請求項 8】

配列番号7の核酸配列を有する請求項2～7のいずれか一項に記載の組換え核酸分子。

【請求項 9】

請求項3～8のいずれか一項に記載の組換え核酸分子を含む宿主細胞。

【請求項 10】

哺乳動物細胞である請求項9に記載の宿主細胞。

【請求項 11】

チャイニーズハムスター卵巣（CHO）細胞である請求項9または10に記載の宿主細胞。

。

【請求項 12】

寄託番号DSM ACC2833を有する請求項9～11のいずれか一項に記載の宿主細胞。

【請求項 13】

請求項2に記載の第1の組換え核酸分子と、

配列番号2の核酸配列のコード領域、配列番号2の核酸配列のコード領域に対して少なくとも85%の配列同一性を有する核酸配列、および配列番号3に示される核酸配列から成る群から選択された、ヒト卵胞刺激ホルモン（FSH）の鎖をコードする核酸配列を含む第2の組換え核酸分子と、を有する宿主細胞。

【請求項 14】

適切な培地中の、請求項9～13のいずれか一項に記載の宿主細胞を含む細胞培養物。

【請求項 15】

組換えヒトFSHを生産する方法であって、

適切な培養培中で、請求項9～13のいずれか一項に記載の宿主細胞を培養する工程；

細胞培養上清を採取する工程からなる方法。

【請求項 16】

細胞培養上清を組換えヒトFSHから精製する工程をさらに含む請求項15に記載の方法。

。

【請求項 17】

請求項3～8のいずれかに記載の組換え核酸分子によって、無血清条件下で懸濁培養中の細胞をトランスフェクトする工程を含む、請求項9～16のいずれか一項に記載の宿主細胞を生産する方法。

【請求項 18】

請求項13に記載の宿主細胞を生産する方法であって、

請求項2に記載の第1の組換え核酸分子と、配列番号2の核酸配列のコード領域、配列番号2の核酸配列のコード領域に対して少なくとも85%の配列同一性を有する核酸配列、および配列番号3に示される核酸配列から成る群から選択された、ヒト卵胞刺激ホルモン（FSH）の鎖をコードする核酸配列を含む第2の組換え核酸分子とにより、無血清条件下で懸濁培養中の細胞をトランスフェクトさせる工程を含む方法。

【請求項 19】

ヒト組換えFSHの生産のための、配列番号1および配列番号2の少なくとも一方に記載の核酸配列の使用方法。